

昨今、人事は「経営の戦略パートナー」として、また「変革のリーダー」として、どれだけの役割を發揮できるかが問われています。人と組織と経営のパラダイムシフトにより、企業はいかにイノベーションを起こし、勝ち残り、成長していくか、人事を取り巻く環境は大転換期を迎えています。

2月次の人事戦略フォーラムは、企業が成長戦略を具現化する上での人事の役割や人財マネジメントのあり方について、数多くの企業の組織人事戦略をコンサルティングされてきた、日本アイ・ビー・エムの石田様から、同社での先進的取り組みを交えながら、企業人事と経営人事コンサルタントの双方の視点から示唆に富んだお話を頂きます。

参加を希望される方は、裏面の申込書にて会員申請の上、お申込み下さい(入会金・年会費・参加費無料)。



## プログラムのご紹介

### 「成長戦略具現化のために求められる人財マネジメントとは？」

～IBMが実施したグローバルサーベイ結果からの示唆と同社での人材マネジメント事例からの考察～

日時：2016年2月10日(水) 15:30～17:30 場所：パソナグループ本部ビル1F研修室(〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-4)

\*セミナー終了後、懇親会を予定しております。軽食と飲み物をご用意致しますので、お時間の許す範囲で是非ご参加下さい。



日本アイ・ビー・エム株式会社

グローバルビジネスサービス事業本部  
戦略コンサルティンググループ  
組織人財変革コンサルティングサービス  
パートナー

石田秀樹氏

#### メッセージ

加速する事業のグローバル化、技術革新の進展、労働人口構成の変化といった経営環境の激変に伴い、従業員の職業観やキャリアの変化、コミュニケーションのあり方、ワークスタイルの更なる改革等、新たに対応すべき人的課題は多様化しており、人財マネジメント分野での重要なチャレンジテーマとなっています。

こうした中で、弊社が隔年で実施している経営者向けグローバルサーベイ「Global C-Suite Study 2015」の調査結果から、「人的課題の再定義」が求められていることが明らかになりました。

「優秀人材の惹き付け・獲得」「次世代リーダーの早期発掘・早期育成」「グループシナジーを加速する横断的な人材配置の最適化」「顧客体験を創出し、強固な顧客関係構築のために更なる活用が期待される、社内外ソーシャルネットワークの確立」「組織を超えた他社との協業の活性化」等は、企業の成長戦略を具現化する上で必要不可欠な課題となっており、経営課題として取り組む必要があります。

このような背景を踏まえ、当セミナーでは、今後の成長戦略に求められる「人財活用の高度化」をテーマに、近年注目されているアナリティクスを活用した弊社事例を具体的な事例を交えてご紹介致します。

また、グローバルサーベイでの結果を通じて、先進企業が、成長戦略の具現化に「人財活用」をどのように位置づけ、実践しているのかについてもご紹介致します。

#### プロフィール

現在は日本アイ・ビー・エム(株)の戦略コンサルティング部門にて、組織変革及び人財マネジメント領域のコンサルティングサービスの日本に於ける責任者を務める。

地域金融機関に勤務した後、複数の外資系コンサルティングファームを経て、IBM Business Consulting Service(旧 PwC Consulting)に入社、以後一貫して「組織」と「人」の側面から企業変革に携わり、大規模企業を中心に、15年以上のコンサルティング経験を基にした実践的な変革支援に従事している。

人事戦略策定、グローバルタレントマネジメント、サクセッションマネジメント、人的リソース最適化(ワークフォースマネジメント)、人事制度統合、組織変革(機能別組織設計・グループガバナンス設計等)、人事機能変革、モバイルの有機性を活用したワークスタイル変革、エンゲージメントマネジメント、BPR、SSC設計・設立支援、BPOアドバイザー、人事情報システム導入支援、風土変革支援、HR Analytics(人財情報分析による変革アプローチ)等のプロジェクトを数多く経験している。

最近では、日系企業のグローバル化、及び、人財マネジメント領域での情報活用(アナリティクス)をテーマにした変革プロジェクトに従事し、企業の成長戦略を包括的に支援している。

